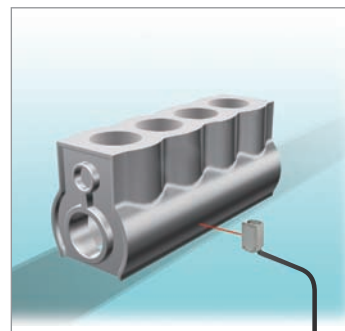
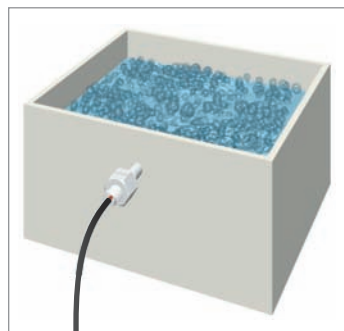
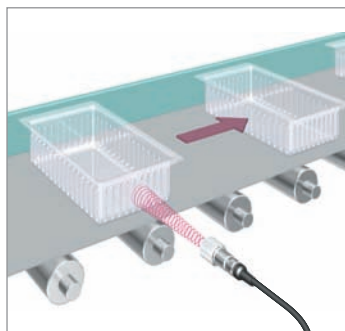
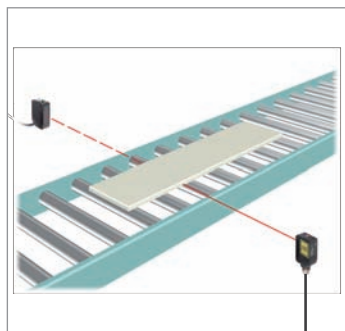


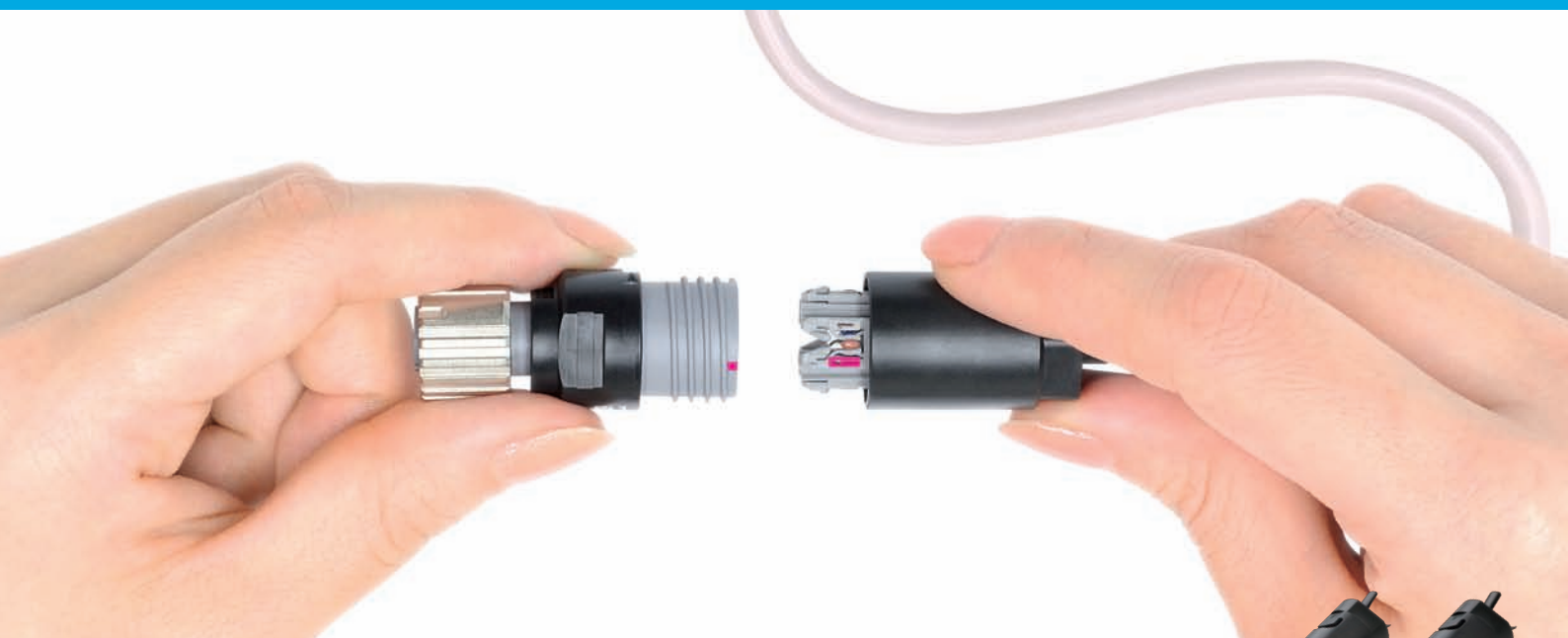


センサとの接続を

ひとつで

誰でも

簡単に



丸型防水コネクタ組立式圧接タイプ

形 XS5C/G



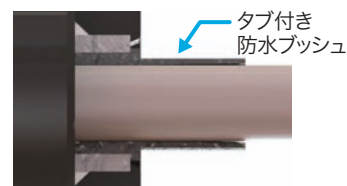
スマートクリックコネクタなので、ワンタッチ接続です。
※Smartclickは、オムロン株式会社の日本およびその他の
国における商標または登録商標です。



■ 特 長

ひとつで
在庫管理

レス



ケーブル外径はφ3～8mmまで対応。φ5～8mmはタブ付き防水ブッシュを引き抜くだけ。
※φ5mmはどちらでも可能。

誰でも
トルク管理

レス

目視で
確認可能



締切位置が明確で
トルク管理不要。

簡単に
専用工具

レス

圧接方式で簡単接続

使用工具はニッパーとレンチだけ



専用工具不要の簡単6ステップで作業完了!!



■ 種 類

プラグ



極数	4
形式	形XS5G-D418
標準価格(¥)	1,200

ソケット



極数	4
形式	形XS5C-D418
標準価格(¥)	1,130

■ 定 格 / 性 能

定格電流	4A
定格電圧	DC250V
接触抵抗(コネクタ部)	40mΩ以下(DC20mV以下、100mA以下にて)
耐電圧(コネクタ部)	AC1500V 1min.(リーク電流1mA以下)
保護構造	IP67(IEC60529)
挿抜耐久	50回
ロック強度	引張り:100N/15s 回転:1N・m/15s
ケーブル保持力	ケーブル外径:φ4mm未満 12N/15s
	φ4mm以上6mm未満 30N/15s
	φ6mm以上 100N/15s
使用温度範囲	-25～+70℃
圧接リペア回数	10回まで(同一外径・芯線径に限る)

■ 材 質 / 処 理

コンタクトブロック	PBT樹脂(UL94V-0)
カバー	PBT樹脂(UL94V-0)
コンタクト	リン青銅/Ni下地 接触部金メッキ(0.15μm)
固定具	亜鉛合金/Niメッキ
Oリング	ゴム

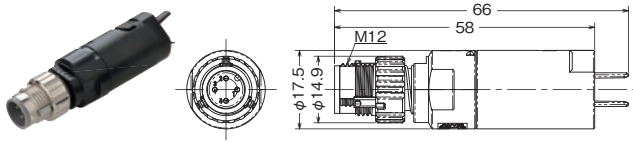
■ 適 合 ケー ブ ル

適合ケーブル外径	φ3～8mm
芯線導体サイズ	0.14～0.75mm ² (AWG26～18)
最小素線径	φ0.08mm
芯線被覆外径	φ0.7～2.6mm
シース材質	PVC、PE、PUR
芯線被覆材質	PVC、PE

■外形寸法

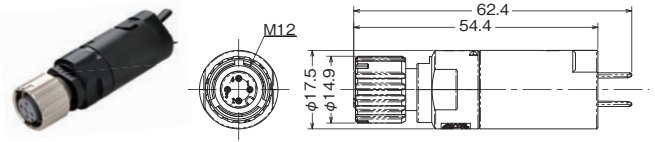
プラグ形XS5G-D418

(単位: mm)



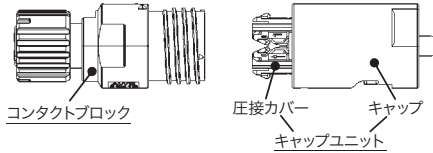
ソケット形XS5C-D418

(単位: mm)



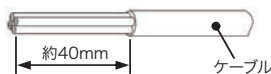
■組立手順

1) 製品準備(各部品が揃っていることを確認してください)



2) ケーブル端末加工

- ・ケーブルのシースを剥いてください。



適合ケーブル外径	芯線導体サイズ
φ3~8mm	0.14~0.75mm ² / AWG26~18

3) 防水ブッシュ仕様選択

- ・ご使用のケーブル径に応じて、防水ブッシュ仕様を選択してください。

《ケーブル外径:φ3~5mmの場合》

キャップユニットを納入状態のままご使用ください。



《ケーブル外径:φ5~8mmの場合》

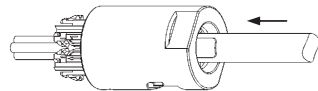
キャップユニットのタブ付き防水ブッシュのタブ部両側を掴み、矢印の方向に引き抜いてからご使用ください。



※ブッシュを抜き取る必要がない場合、不用意にタブを引っ張るまたはタブ付き防水ブッシュを引き抜くことを避けてください。なお、引き抜いたブッシュは再度差し込んで使用しないでください。

4) ケーブル挿入

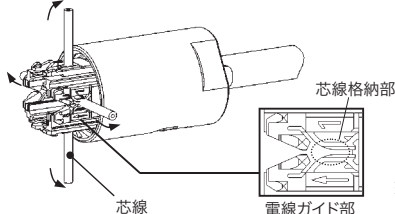
- ・キャップユニットにケーブルを挿入してください。



※ケーブルが進まなくなるまで、十分に挿入してください。
※図はケーブル外径φ3~5mmの場合で示しています。

5) 配線

- ・圧接カバの端子番号表示*1を確認し、端子番号に合わせて各電線ガイド部に芯線を挿入し、奥まで押し込んでください。

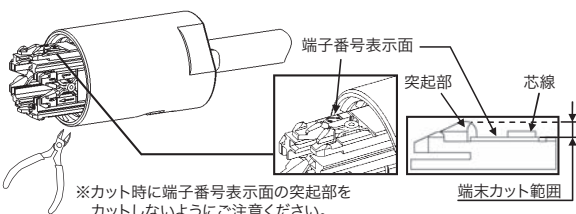


*1 端子番号 1: 茶色
端子番号 2: 白色
端子番号 3: 青色
端子番号 4: 黒色

※芯線径によって格納状態には差があります。

6) 芯線端末加工

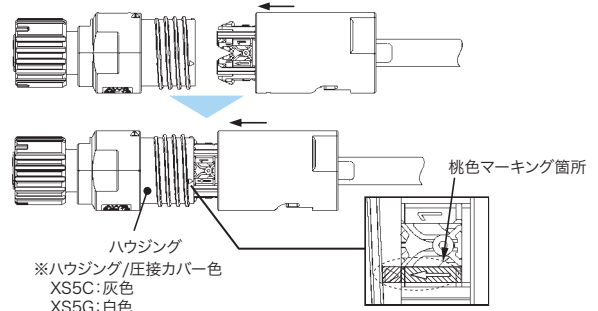
- ・各芯線の端末部をニッパーなどでカットしてください。端末部カット断面は端子番号表示面と同一面となることを目安にしてください。



※カット時に端子番号表示面の突起部をカットしないようにご注意ください。

7) コンタクトブロック組付

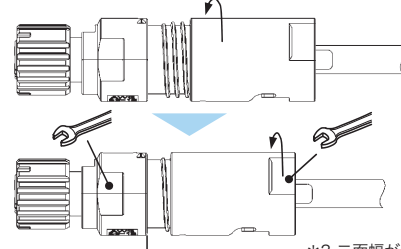
- ・芯線端末加工が完了したキャップユニットをコンタクトブロックに挿入してください。
- ・挿入の位置合はは桃色マーキングの位置(ハウジングの△マークと圧接カバの矢印)を目安にしてください。なお、矢印の位置は端子番号1の横です。



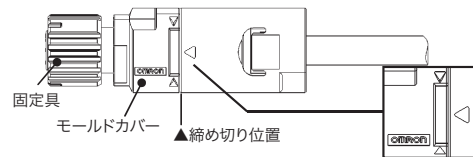
※ハウジングと圧接カバの色が同一色であることを確認のうえ挿入してください。

8) キャップ締め付け

- ・キャップユニットを押し込んで手で軽くねじの仮締めをした後、サイズ15mmのレンチ、スパナ*2でキャップ締め付けを行ってください。



- ※2 二面幅が広い工具で締め付けた場合、キャップ破損の恐れがあります。
- ・キャップを締め付けていくと、コンタクトブロックのモールドカバーとキャップとの隙間がなくなります。隙間がなくなった時点で組立・結線作業は完了です。



※なお、締め切り位置の隙間がなくなるまでキャップを締め付けたときには、モールドカバーに形成したインジケータ△□の四角部内にキャップの△マークが入ってきますので、本インジケータも締め付け完了の目安にしてください。
※キャップを締め切り位置を超えて締め付けないでください。破損の恐れがあります。

9) 組立後

- ・組立後においては線間絶縁をご確認のうえご使用ください。

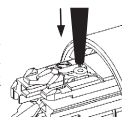
リペア作業手順

キャップユニット取外し

- ・結線を解除する際は、組立作業手順 8)→7)でキャップユニットを取外してください。
- ※稀に圧接結線部に芯線が残ることがありますが、その場合は端末部をピンセットなどで垂直方向に引き上げて抜去してください。その際、圧接コンタクトには直接触れないでください。
- ※圧接カバがハウジング側に残った場合には、ケーブルを引っ張って抜去してください。圧接カバを強く掴んで抜去すると、圧接カバ破損の恐れがあります。

ケーブル取外し

- ・組立作業手順 4)と逆の方向にケーブルを引っ張り、キャップユニットからケーブルを抜去してください。その際、芯線端末先端部をピンセットなどで圧接カバ内に軽く押し込んでおくことでケーブル抜去が容易になります。



リペア作業

- ・再度結線を行う際は、組立作業手順 1)~8)の手順に沿って組立(リペア作業)を行ってください。
- ※リペアの際には同一径のケーブル、同一径の芯線を使用してください。また、リペア結線回数は10回までとしてください。
- ※リペアを行う際は、コネクタに付着した異物・水分をよく取り除いてから作業を行ってください。
- また、結線部に異物・水分が入らないようにご注意ください。結線部に異物・水分があると短絡等の原因となります。

正しくお使いください

使用上の注意

定格を超える周囲雰囲気・環境では使用しないでください。

コネクタの挿抜について

- コネクタの挿抜は、必ずコネクタを持って行ってください。
- ケーブルを持って引き抜いたりしないでください。
- コネクタをかん合する時は、最初にかん合部を奥まで挿入し、ロック操作を行ってください。
- コネクタをかん合する時は、工具は使用せず、必ず手で行ってください。プライヤなどの工具を使用すると破損の原因となります。
- 形XS2など、ねじ式M12コネクタとかん合する場合は、手で固定具を締め付けてください。(適正トルク0.39～0.49N・m)

配線について

- センサやリミットスイッチなどを配線する場合は、その配線図を必ずご確認ください。
- コネクタに外力が加わらないように、ケーブルを敷設してください。コネクタに外力が加わると、保護構造(IP67)の性能が発揮できない原因となります。

保護構造について

- 保護構造IP67は水密型(完全防水)とは異なります。常時水没状態での使用は避けてください。
- コネクタを足場にしたり、物を載せたりしないでください。コネクタ破損の原因となります。

お願い

- コネクタやケーブルをむやみに引っ張らないでください。また、コネクタかん合部やケーブル結線根元部に直接負荷が掛かるような取り付けをしないでください。コネクタが破損したり、ケーブルの断線につながる恐れがあります。
- ケーブルの断線やコネクタの破損を防ぐため、踏みつけることの無いような箇所に設置してください。万一そのような箇所へ設置する場合は、保護カバーを設置の上で使用ください。

- ケーブルを曲げる場合は使用されるケーブルの仕様をご参照の上で使用ください。
- 設置時においてセンサやスイッチを取りつけない場合、コネクタのかん合面保護のため、防水カバー(形XS2Z-22)またはダストカバー(形XS2Z-14/15)をご使用ください。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先

お客様
相談室

フリー
通話

0120-919-066

携帯電話の場合、
☎055-982-5015 (有料) をご利用ください。
受付時間: 9:00～17:00 (土・日・12/31～1/3を除く)

 **オムロンFAクイックチャット**
www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/

技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。(I-Webメンバーズ限定)

受付時間: 平日9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日祝日・年末年始・当社休業日を除く)
※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。



その他のお問い合わせ: 納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。



オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。緊急時のご購入にもご利用ください。 www.fa.omron.co.jp

本誌には主に機種のご選定に必要な内容を掲載しており、ご使用上の注意事項等を掲載していない製品も含まれています。
本誌に注意事項等の掲載のない製品につきましては、ユーザーズマニュアル掲載のご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容を必ずお読みください。

- 本誌に記載の標準価格はあくまで参考であり、確定されたユーザ購入価格を表示したものではありません。本誌に記載の標準価格には消費税が含まれておりません。
- 本誌にオープン価格の記載がある商品については、標準価格を決めていません。
- 本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。
- 規格認証/適合対象機種などの最新情報につきましては、当社Webサイト(www.fa.omron.co.jp)の「規格認証/適合」をご覧ください。

オムロン商品のご寿命